

# 事業概要説明シート

事務事業番号 32980

事務事業名	図書館分室運営事業[中央図書館]		
事業開始年度	昭和48(1973)年度	担当部署	社会教育部 中央図書館

根拠法令	枚方市立図書館条例
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input type="checkbox"/> その他( )
目的 (何のために)	分館の利用が困難な地域住民に対し、中央図書館および分館と連携しながら図書館資料の貸出や各種行事を中心としたサービスを行う。
対象 (誰・何を対象に)	市民 (北河内7市の市民が相互に利用できる広域利用も実施)
事業内容	分室周辺の利用者を対象に資料の貸出、予約の受付、児童向けのおはなし会などの各行事を行う。
類似事業	なし
事業の必要性	分館の利用が困難な地域住民に対し、図書館サービスを行うために必要。

コ ス ト		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.86 人	6,978 千円	0.90 人	7,281 千円	0.90 人	7,200 千円	
再任用職員	4.50 人	15,786 千円	7.00 人	24,150 千円	7.00 人	24,297 千円	
非常勤職員等	25.5 人	77,352 千円	23.7 人	73,448 千円	23.7 人	73,448 千円	
人件費計(A)		100,116 千円		104,879 千円		104,945 千円	
直接経費(B)		8,717 千円		6,645 千円		0 千円	
総事業費(A+B)		108,833 千円		111,524 千円		104,945 千円	

財源内訳		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金			千円		千円		千円
受益者負担 (使用料等)			千円		千円		千円
その他			千円		千円		千円
一般財源		108,833 千円		111,524 千円		104,945 千円	

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	分室(11カ所)管理運営経費(委託料90、負担金543、光熱水費4,236、通信運搬費1,395、使用料及び賃借料8)	6,272 千円
	子ども読書活動推進経費(報償費56)・図書館行事経費(消耗品費17) * 中央図書館運営事業・図書館分室運営事業と按分	73 千円
	絵本と音楽の出会いコンサート推進経費(報償金180、使用料及び賃借料47、図書費70)	297 千円

# 事業概要説明シート

事務事業番号 32980

事務事業名	図書館分室運営事業[中央図書館]		
事業開始年度	昭和48(1973)年度	担当部署	社会教育部 中央図書館

	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
活動実績	① 貸出冊数	冊	619,689	612,052	620,000
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 1冊あたりの貸出コスト	円	176	196	183
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	社会教育機関として、知の源泉となる図書館資料を提供して、市民の読書を推進し生涯学習を支援する。また市民の生活や仕事に役立つ地域の情報拠点として、社会が高度に情報化する中で豊富で確かな情報を集め提供する。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	枚方市立図書館は、平成22年度、政令市と特別区を除いて貸出冊数日本一				
特記事項					
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	サービス圏域や利用状況を踏まえて、再構築を検討する。			
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・31012事業と共に、効率性・有効性の検証が必要では</li> <li>・今後の図書館サービスの中で、中央図書館、分館、分室それぞれにおける役割分担とあり方について見直しが必要では</li> </ul>				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	分館の利用が困難な比較的人口が集中している地域に設置し、図書資料の貸出、読書支援等を行う。サービス圏域や利用状況を踏まえて、施設管理上の安全性やバリアフリーの観点からも再構築を図る。			